



株式会社東芝 北九州工場 サイトレポート情報	
所在地	福岡県北九州市小倉北区下到津1-10-1
敷地面積	56,209m ² 、建家面積：63,297m ² 、緑化率：9.2% (※工場立地法施行前のため規制対象外)
設立	1920年6月、正規従業員：900人 (2011年3月末現在)
主要製品	光半導体、アナログLSI
ISO14001認証取得	1996年9月
セミコンダクター社グループ統合認証取得	2007年8月、最新更新年月:2010年8月
ISO14001認証番号	EC98J2014



ごあいさつ

当工場は、環境モデル都市である北九州市の市街地で操業90周年を迎えた、東芝グループの中で最も長い伝統を有する工場です。当工場は、光半導体の開発・製造ならびにアナログLSIの製造拠点として、環境への取り組みを“工場経営の最重要課題のひとつ”と位置づけ、環境に配慮した企業活動の実践と、豊かな価値を創造する環境配慮型半導体製品の提供を通じて、地域社会に貢献できるよう、従業員一丸となって環境活動に取り組んでいます。



環境保全責任者 福岡 和雄

2010年度の環境の主な取り組み

◆環境マネジメントシステム …セミコンダクター社ISO14001統合化認証更新 (2010年8月8日)

◆2010年度環境経営重点施策実績 …全て達成

①環境配慮生産・製品技術開発推進 (件数)	計画:16件以上	⇒実績:28件 (達成度175%)
②地球温暖化防止 (GHG総排出量削減)		
・エネルギー起源CO2削減 (削減量)	計画:301トンのCO2以上	⇒実績:1334トンのCO2 (達成度443%)
・PFCガス排出量削減 (排出量)	計画:52千トンのCO2以下	⇒実績:46千トンのCO2 (達成度113%)
③資源有効利用		
・廃棄物総排出量削減 (排出量)	計画:3,773トンの以下	⇒実績:2,113トンの (達成度178%)
・ゼロエミッション率低下 (埋立処分率)	計画:0.14%以下	⇒実績:0.11% (達成度127%)
・水資源受入量削減 (受入量)	計画:998千m ³ 以下	⇒実績:815千m ³ (達成度122%)
④環境リスク低減		
・化学物質環境排出量削減 (排出量)	計画:33トンの以下	⇒実績:29トンの (達成度113%)
⑤生物多様性保全活動 (件数)	計画:4件以上	⇒実績:4件 (達成度100%)
⑥環境コミュニケーション (件数)	計画:8件以上	⇒実績:12件 (達成度150%)
⑦従業員環境意識高揚活動 (件数)	計画:9件以上	⇒実績:10件 (達成度111%)

◆取引先等に対する環境配慮

①取引先への指導支援 (取引先説明会等)	実績:85社実施 (取引総額80%以上の取引先全社)
②産業廃棄物処理業者現地確認 (業者点検)	実績:32社実施 (産業廃棄物処理委託契約締結先全社)

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介

当工場は、光半導体の開発拠点として、少ない消費電力で点灯する高輝度LEDランプや家電製品用のフォトカプラ (光信号によって情報伝達を行う素子) 等、環境効率の高い環境配慮型半導体製品を開発しています。



光半導体

- <<使用用途>>
- 携帯電話
 - デジタルカメラ
 - テールランプ、車内LAN
 - 家電製品 他

環境コミュニケーションの紹介

◆社会コミュニケーション

- ①環境報告書発行 …2005年度より毎年継続発行
- ②環境サイトレポート発行 …2007年度より継続発行 (WEB掲載)

◆地域コミュニケーション

- ①環境出前授業実施 …2010年度より実施 (7月、9月)
- ②近隣中学校見学会受入れ …2009年度より継続実施
- ③工場周辺一斉清掃活動 …毎年2回継続実施 (6月、9月)
- ④従業員家族向け環境新聞発行 …2010年度より発行 (8月、2月)
- ⑤3Rを基本とした社会貢献活動 …2007年度より継続実施 (ワクチン提供等)

◆行政環境行事参画

- ①エコライフステージ協賛出展 …2008年度より継続協賛出展
- ②まち美化キャンペーン参画 …年2回継続参画
- ③クリーンキャンペーン参画 …年4回継続参画
- ④北九州植樹活動参画 …2008年度より継続参画



環境報告書



エコライフステージ出展



環境出前授業



近隣中学校見学会

(株) 東芝 セミコンダクター社北九州工場 環境方針

－ 理 念 －

東芝 セミコンダクター社グループは、東芝グループの環境基本方針である「**”**かけがえのない地球環境”を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立って、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境活動により、持続可能な社会の実現に貢献します。

－ 方 針 －

東芝 セミコンダクター社北九州工場は、東芝グループで最も長い伝統を有する工場として、これまでも、そして、これからも環境への取り組みを工場経営の最重要課題の一つとして位置づけます。

モノづくりにおいては、東芝 セミコンダクター社グループ環境方針に基づき、家庭や車載用途を中心に人と機器をつなぐキーコンポーネンツである光半導体の開発・製造ならびにアナログLSIの製造拠点として、環境に配慮した企業活動の実践と、豊かな価値を創造する環境配慮型半導体製品の提供を通じて、人類とともに多様な生物が持続的に生存できる社会の実現に貢献することを目指します。

また、環境モデル都市北九州市の市街地に操業する工場であることを念頭に置き「従業員一人ひとりが率先垂範する環境活動」をキャッチフレーズに、地域社会ならびに多くのステークホルダーの方々とのパートナーシップを築きながら環境活動を推進します。

1. 倫理観（コンプライアンス）と継続性（サステナビリティ）

- 1) 法令、当組織が同意した業界などの指針および自主基準など、当組織の環境側面に適用可能な法的及びその他の要求事項を遵守します。
- 2) 環境活動レベルの向上を図るため、監査の実施や活動のレビューにより環境マネジメントシステムの継続的な改善を行い、効果的な運用を推進します。

2. 実行（エクセキューション）

事業活動・製品及びサービスの全てのプロセスに関わる環境側面について、生物多様性を含む環境への影響を評価し、環境負荷の低減、汚染の予防、環境配慮型製品の創出、ステークホルダーの方々とのコミュニケーションなどに関する環境目的・目標を設定し、積極的な環境活動を推進します。

- 1) 環境配慮型製品の創出・社会への提供を通じた社会の環境負荷低減のために、製品の省エネルギー・省資源設計に務めるとともに、製品含有化学物質管理を行います。
- 2) 低炭素社会実現のために、製造及び動力設備の省エネルギー・温暖化ガスの排出量削減に取組みます。
- 3) 持続可能な資源の有効利用のために、生産性向上・3Rを積極的に推進し、廃棄物の総排出量や埋立処分量の削減ならびに水資源の受入量削減に取組みます。
- 4) 環境リスク低減のために、使用する化学物質の管理ならびにプロセス改善を推進し、化学物質の環境排出量削減に取組みます。
- 5) 生物多様性の保全のために、事業活動が生物多様性に及ぼすかかわりを把握し、生物多様性の及ぼす影響の低減と植林活動への積極的参画による保全活動に取組みます。
- 6) ステークホルダーの方々との環境意識の共有および相互理解のために、地域環境イベントへの出展や環境体験学習の実施等を通じた環境情報発信ならびに3Rを基本とした社会貢献活動に取組みます。
- 7) 従業員の環境保全に関する意識を高めるために、各種月間行事や工場周辺清掃活動の実施ならびに社内環境新聞の発行、環境教育等に取組みます。

この環境方針は、文書化し、組織で働く人々又は組織のために働くすべての人に周知するとともに、社内外へ開示します。

2011年 6月 1日

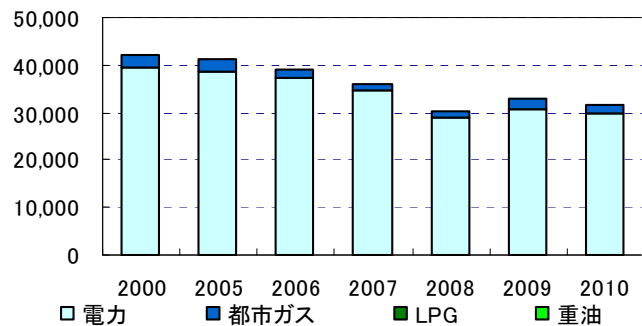
株式会社東芝 セミコンダクター社北九州工場

環境保全責任者

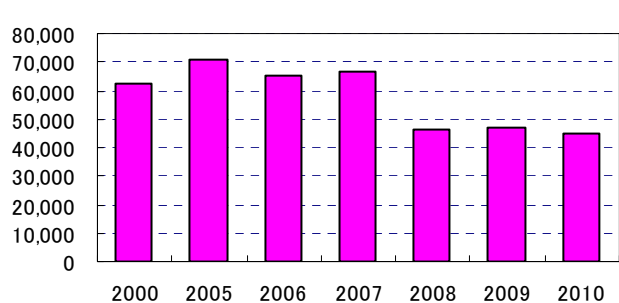
福岡和雄

環境負荷データ

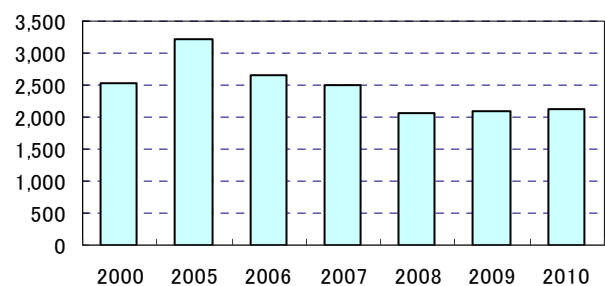
エネルギー使用量(単位:kL)



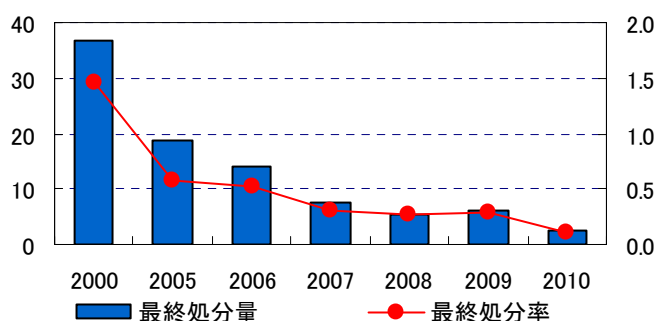
CO₂排出量(単位:トン-CO₂)



廃棄物総発生量(単位:トン)

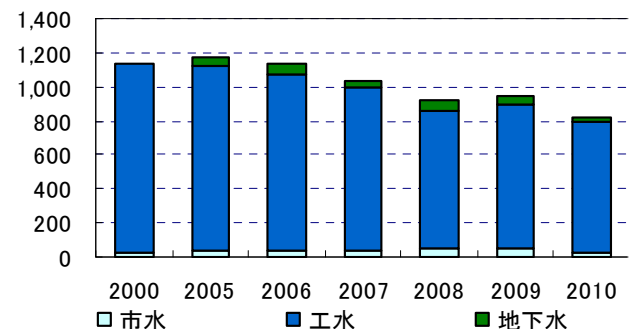


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:トン、%)

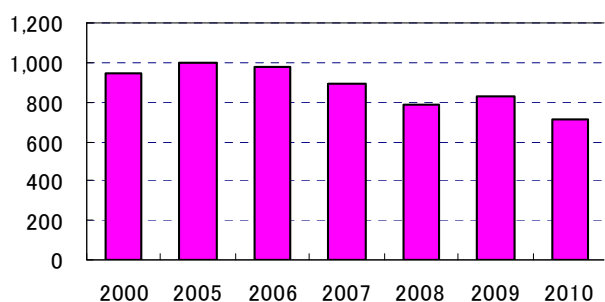


主な廃棄物名: 廃酸、廃油・廃溶剤、污泥、廃プラスチック 等

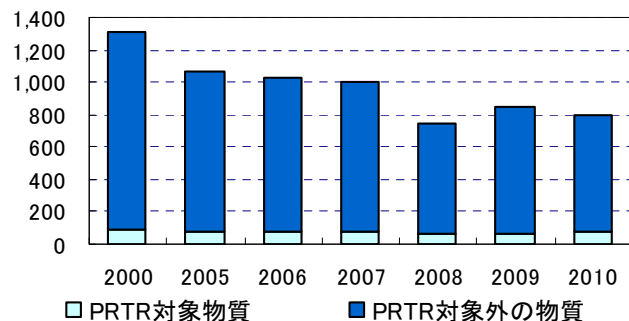
水の使用量(単位:千m³)



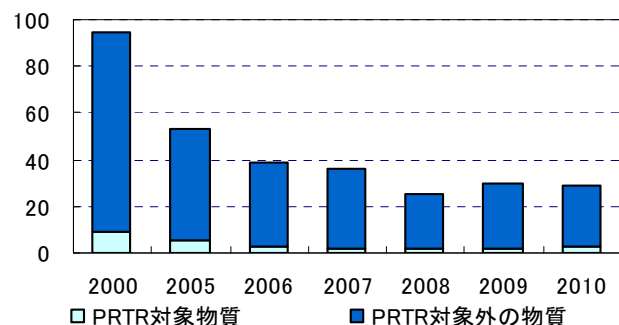
排水量(単位:千m³)



化学物質削減対象物質の取扱量(トン)



化学物質削減対象物質の排出量(トン)



主な化学物質: 弗化水素酸及びその水溶性塩、塩化水素、硫酸、イソプロピルアルコール、酢酸nブチル

遵法管理状況

<大気測定結果> 炉筒円管ボイラー(都市ガス使用):2台、貫流ボイラー(都市ガス使用):4台

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	150	132	110(最大)	2回/年
SOx(Nm3/h)	対象外	対象外	対象外	対象外
ばいじん(mg/Nm3)	100	1.7	1.1(最大)	2回/年

<排水測定結果> 特定施設(酸又はアルカリ表面処理施設、排水処理施設、排ガス洗浄施設) ⇒ 下水道放流

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.0~9.0	6.0~8.0	6.4~7.3	毎日
フッ素(mg/L)	15	11	9.0(最大)	毎日
BOD(mg/L)	600	101	45.3(最大)	1回/週
COD(mg/L)	対象外	対象外	対象外	対象外
SS(mg/L)	600	50	6.0(最大)	1回/週
砒素(mg/L)	0.1	0.05	<0.01(最大)	1回/週

<騒音・振動測定結果> 特定施設(騒音:圧縮機、送風機、振動:圧縮機)

	測定場所・時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	65	65	62(最大)	6回/年
	敷地境界:夜	55	55	53(最大)	6回/年
振動(dB)	敷地境界:昼	65	39	<30(最大)	6回/年
	敷地境界:夜	60	37	<30(最大)	6回/年

<その他測定結果> 生活雑排水(主な測定結果)⇒ 下水道放流

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.0~9.0	—	6.9~8.2	1回/月
BOD(mg/L)	600	—	109.5(最大)	1回/月
SS(mg/L)	600	—	149.0(最大)	1回/月

環境事故・指導指摘・苦情の有無

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし